



地方からのホットライン（令和7年7月）



今回は、「私の地元自慢」というテーマでイロイロお書きいただきました。

（早川さんは、今回はお休みされ、その分のスペースを金子さん譲られました）

● 相良 直哉さん(宮城県仙台市在住)

我が地元、仙台の自慢といえば、食では「牛タン」「せり鍋」「ずんだ餅」など、行楽地でいえば「秋保温泉」「作並温泉」というところでしょうか。ただし、これらは、すでに皆さまご存知のものばかりで取って説明をするまでもないのかもしれませんが。

今回お伝えしたい仙台自慢の一つは、意外に知らない「塩沼亮潤大阿闍梨」という人の存在です。仙台市太白区秋保にある慈眼寺の住職で、1300年に2人しか達成したことがない「千日回峰行」に挑み、見事に成し遂げられた人です。私も、NHK主催の講演会でお話を伺いましたが、感動しました。ご興味のある方は、是非HPを検索してみてください。

● 金子 幸雄さん(山形県山形市在住)

いま山形では、初代藩主・最上義光が主人公のNHK大河ドラマの実現を目指す運動で盛り上がっています。山形市内外の有志達が『最上義光を大河ドラマにする会』を立ち上げ、PR活動を展開しているのです。義光は、武勇に優れた武将でもあり、連歌に通じた文化人としても知られています。その義光の真の姿を伝えるのが狙いようです。義光は全盛期には57万石を領し、城下町整備や最上川舟運の開発に尽力し、山形県の礎を築いた名君として名高いのですが、1987年に放送されたNHK大河ドラマ「独眼竜政宗」では悪役として描かれていました。その一方で、豊臣秀次に嫁いだために京で非業の死を遂げた娘の駒姫を愛した父親としての優しい一面も語り継がれています。こうした義光の人となりを見直し、上杉景勝や伊達政宗との関係性、豊臣秀吉や徳川家康とのからみを見直し、ドラマを通じて東北全体の観光資源として活かしていくのが目的だそうです。

さて、果たして本当に実現するのでしょうか？（乞う、ご期待です！！）

● 丹野 智彦さん(福島県安達郡大玉村在住)

南米ペルーのマチュピチュ村と我が大玉村は、マチュピチュ村からの申し入れにより友好都市協定締結を行い交流が続いております。友好都市協定締結に至ったのには、大正時代に大玉村から移民としてペルーに渡った野内与吉という人がマチュピチュに定住し、鉄道建設等インフラ整備に尽力し行政官になり、マチュピチュ村の初代村長に任命され村の発展に尽くしたという経緯があります。現在のマチュピチュ村の基礎を築いたということで野内氏の出身地である大玉村が最初の友好都市の相手に選ばれたと言われているそうです。

● 吉羽 文雄さん(埼玉県さいたま市在住)

浦和の居住が短いので、第二の故郷とも言える「札幌自慢」をします。一言で言うと札幌は、「人に優しい温もりの感じられる街」です。特に、大通公園は四季折々、魅力的なイベントが行なわれ、市民や観光客を楽しませてくれます。夏のビヤガーデンでは、大

通り 6 丁目から 11 丁目まで、各ビールメーカーの店舗が連なり、11 丁目には世界のビールがあって 1 ケ月間楽しめます。食の特産フェア、ラーメンフェア、よさこい祭り、定番の雪まつりもあります。市民スキー場まで 30 分の、恋の町札幌をぜひ訪れてください。

● 堤 満弘さん(長野県長野市在住)

地元自慢ではありませんが、長野県の珍しい風習をご紹介します。その一つは、長野県歌のことです。小学生の頃から学校で習うので長野県民なら誰でも歌えます。そして、ことあるごとにこの歌を全員で合唱する習わしがあります。そして、二つ目が、県内ではあらゆる催事の締めで万歳三唱をする習わしがありますが、それに加えて、参加者が主催者へ必ず返礼の万歳をします。その際は、「おさかな」と称する謡を唸り、その後に全員で万歳三唱をするのです。アチコチ転勤しましたが、これは長野県だけの風習ですね。

● 影山 皓一さん(静岡県浜松市在住)

地元自慢というテーマ、なかなか思いつくものがなく、静岡に住む身であれば、先ずは「霊峰富士」を挙げるべきなのかもしれませんが、しかし、我が浜松からは 200 km も遙かな彼方。そうだ、800 年の歴史を持つ「浜松風揚げ祭」があった。10 年前に娘の長男、つまりは、我が初孫の誕生祝いに大風を揚げてもらったのが始まりだった。夜には、市中御殿屋台の引き回しもあり、これは地元自慢になる。しかし、待てよと思いましたね。私にとっての地元自慢の大いなるものは、私がお先祖さまから引き継いでいる「我が大地」ではないだろうか。草刈りをし、庭木を保守管理している、この大地こそが私が自慢できる大事な「地元」でありました。

● 渡邊 洋二さん(愛知県春日井市在住)

小生が居住する春日井市は、愛知県西部の尾張エリア東部に位置し、人口 30 万の緑豊かな中規模都市です。昭和 40 年代から名古屋市ベッドタウンとして高蔵寺ニュータウンが開発され、人口増となりました。JR 名古屋駅まで快速で 30 分弱と近く、高速道路のインターチェンジは 2 箇所あり、大阪、松本、伊勢など各地へのアクセスも便利です。また空の便も名古屋空港まで 30 分弱、中部国際空港は高速で 1 時間ほど。我が春日井市は交通の便が良く、住み易い穏やかな町です。

● 三好 進さん(愛媛県松山市在住)

四国は、名城の宝庫。日本城郭協会による「日本の百名城」では、今治城・松山城・湯築城・大洲城・宇和島城（愛媛県）、高松城・丸亀城（香川県）、高知城（高知県）、徳島城（徳島県）の 9 城が四国から選ばれています。特に愛媛県は 5 城と多く、5 城あるのは他には、兵庫県、長野県の 2 県のみです。天守閣は信長以来のものとされており、それ以降 170 ほどの天守閣が建てられ、今も残っているのは、12 城（現存 12 天守と言われる）のみ、うち四国には、松山城、宇和島城、丸亀城、高知城の 4 城があり、他に「日本三大水城」として今治城と高松城の 2 城があります。まさに天下を取った気分です。